

みんなの目標 SDGs

SDGs

世界をよりよく変えるための「持続可能な開発目標」。

国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す目標です。

「世界を変える!？」なんて、自分には関係ないと感じるかもしれませんが。

でも、あなたのほんの少しの意識と工夫で暮らしや働き方が変わり、

一人ひとりの行動が、世界を変える第一歩になるのです。

SDGsは政府が推進し、いま、自治体・企業・地域へと広がっています。



みんなの目標：その11 「住み続けられるまちづくりを」

都市と人間の居住地を包摂的、
安全、強靱かつ持続可能にする

政 治・経済・文化の中心である“都市”には、世界人口の約半数（約35億人）が暮らしており、2030年までには50億人に達すると予測されます。

都市には、人々の社会的・経済的前進を可能とする一方で、人口集中による様々な課題が山積しています。住宅不足による住居費高騰、交通量増加による渋滞・事故の増加や大気汚染、ごみの大量排出によるエネルギー消費、環境汚染による健康被害など、様々な要因が複数にまたがり影響しあっています。

世 界では都市人口の増加によりスラムが形成され、劣悪な環境で暮らす人々が10億人を超えるといわれています。現在、スラム人口は増え続けており、治安の悪化などが深刻化しています。

日本では地方から都市部へ人口が流出することにより少子高齢化が加速している問題があります。SDGsでは、すべての人々が安全安心に人間らしく住み続けられるまちづくりを目標としています。

*スラム：都市部で極貧層が居住する過密化した地区で、公共サービスが受けられず、健康や安全、道徳が脅かされ荒廃した状況。

参考：国際連合広報センター HP

【私たちが日常でできること】

◆区・地域、小諸市の活動に参加してみよう！

住んでいる地域の魅力の発見や課題を考えるきっかけになりますよ！

【小諸市ができること】（第11次基本計画より、一部紹介）

◆立地適正化計画に基づき、利便性と快適性を備え、歩いて回遊できる快適な都市空間を醸成し、市民や来訪者の交流が生まれ、移住・定住に繋がる魅力あるまちづくりを進めます。（都市計画課）

次号、
最終回！

次回3月号は、いよいよ
最後のゴールを紹介します！

ぜひぜひ
見てください！



企画課 行政経営係



イラスト・九間ハート